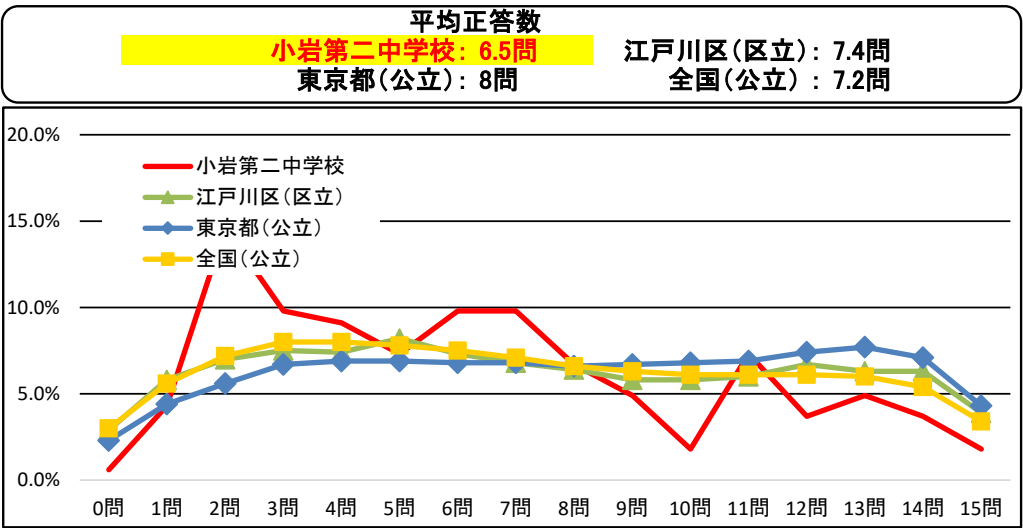
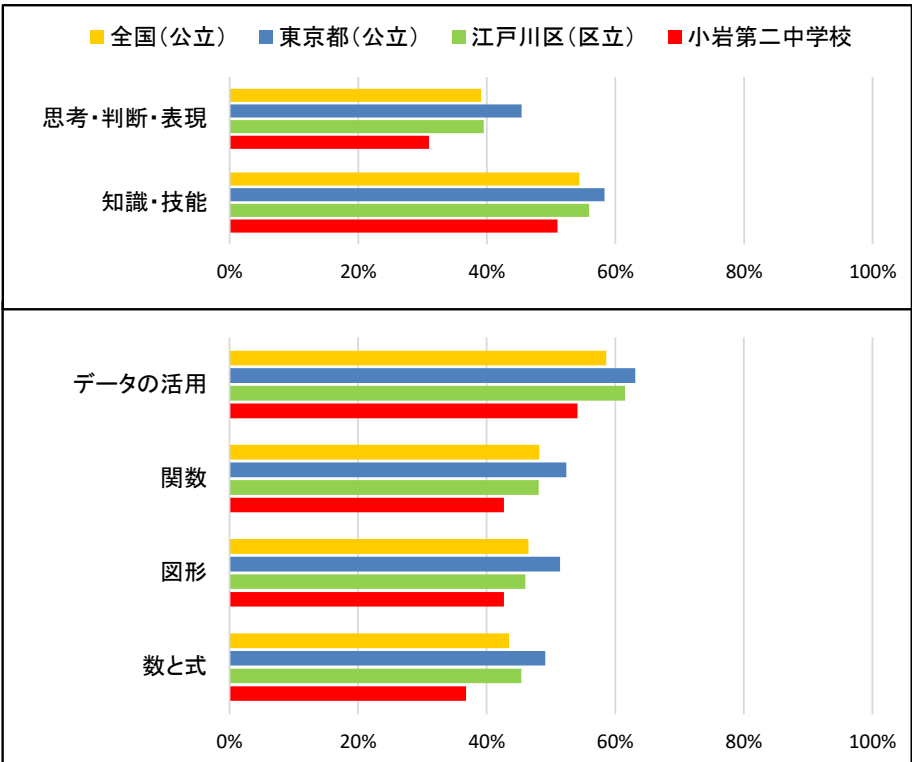


令和7年度全国学力・学習状況調査 結果分析表【数学】小岩第二中学校

正 答 数 分 布



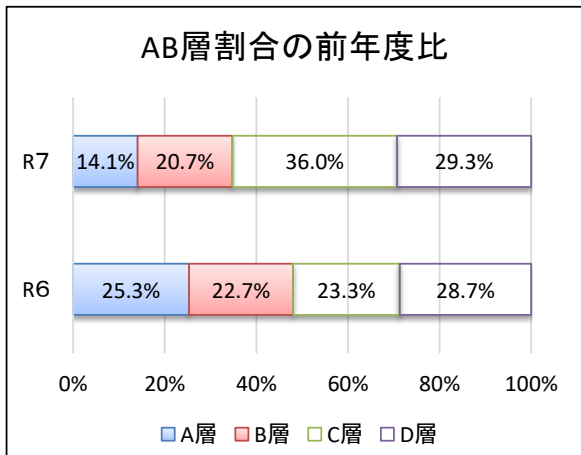
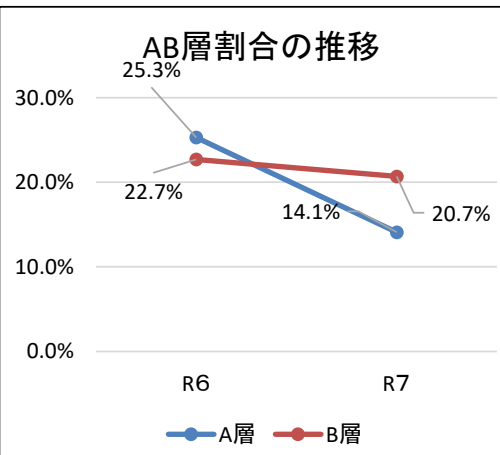
「領域別」の結果



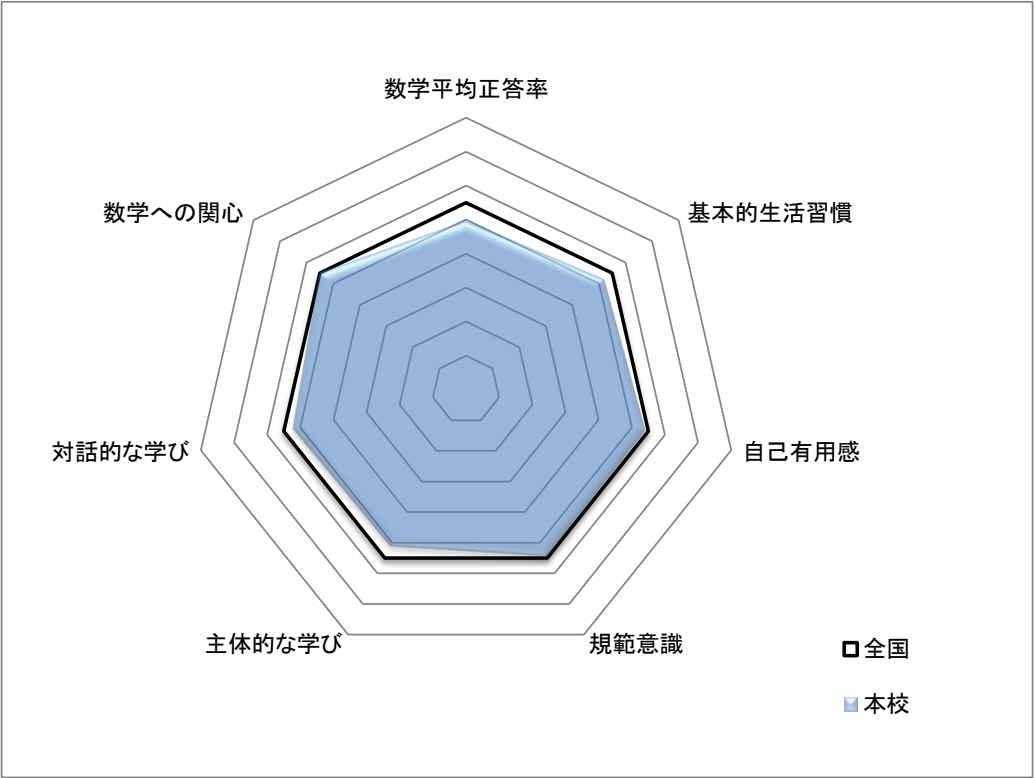
四 分 位 に お け る 割 合 (都 全 体 の 四 分 位 に よ る)

数 学	上位 ← → 下位			
	A層 12～15問	B層 8～11問	C層 4～7問	D層 0～3問
小岩第二中学校	14.1%	20.7%	36.0%	29.3%
江戸川区(区立)	23.2%	24.0%	29.6%	23.2%
東京都(公立)	26.5%	27.0%	27.5%	19.0%
全国(公立)	20.9%	25.1%	30.2%	23.8%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。



各 領 域 に お け る 、 全 国 平 均 正 答 率 及 び 、 全 国 の 肯 定 的 回 答 合 計 値 を 基 準 と し た 場 合 の 、 本 校 の 様 子 。



《現状把握》

●AB層の割合と取組内容について
前年度と比較して、特にA層の割合が減少している。多くの問題演習を繰り返し行うことで基礎・基本の定着をより図り、その上で発展問題を解かせることで実力向上につとめている。

《学校の取組》

・教員の指導力向上

区中研の研修に参加するとともに、お互いの授業内容を定期的に見合い、足りない部分や改善点を話し合いながら授業計画を進めている

・基礎学力の保障

どの学年も定期考査や単元末テストの他に、計算テストや小テストを繰り返し行ったり補習を行うことで定着度を高めるよう心がけている。

・学習習慣の確立

毎日1時間の家庭学習を促し、出来ていない場合には課題を与えるなどして学習する習慣を身につけさせている

・AB層の育成

学力別にわけて少人数授業を行い、AB層には応用力がつくように配慮しながら授業を進めている。
また、数学的な思考を深めるために、数学的な内容を言語化して表現することを授業内で行っている。

《チャートの特徴》

数学への関心は全体的に全国平均に近い数値となり、規範意識も全国平均と近い数値あるが、主体的な学びや対話的な学びに関しては全国平均より低い数値となっている。また、平均正答率の低さも見受けられる。

《家庭・地域への働きかけ》

放課後学習や受験対策講座への参加を生徒に配布するだけでなく、連絡用アプリの「tetoru」を使って家庭連絡をすることで全家庭に働きかけている。